

第 56 回技能五輪全国大会「とび」職種 Q & A

Q 1. 支給材料表で「クランプ3連直交」、「クランプ3連自在」の個数が逆ではないかと思うのですが？

A 1. 申し訳ありませんでした。個数を修正した支給材料表を掲載しましたのでご確認ください。

Q2. 1) 課題の図面を確認したら単管キャップの個数が全部で17ケになりました。
また、屋根組立時のつかの本数が4本になります。
単管キャップの個数は全部で19ケ必要なのでは？

2) 仮柱を設置するとき

- ① 敷板に単管パイプを直接つけるのでしょうか？
- ② 敷板と単管は隙間をあけますか？
- ③ 敷板に直接つける場合、ジャッキベースを使用か？
その場合、ジャッキベースが追加で必要なのでは？

A2. 必要な個数を修正した支給材料表を掲載しましたので、そちらをご確認ください。

Q3. 屋根組立て時の図面で小屋けたの位置について、図面05ではY1-Y0の間に小屋けた記載がありますが、図面10ではY1-Y2の間に小屋けたの記載があります。
どちらが正しいのでしょうか？

A3. 競技課題の図面を修正しましたので、そちらでご確認ください。

第 56 回技能五輪全国大会「とび」職種 Q&A

Q4. トラスの位置（寸法の明記がない）は任意でよろしいでしょうか？

A4. 力学的に有効な位置に取り付けてください。

Q5. 方づえの向きが、技能検定などと逆向きに設置されていますが、図面通りでよろしいでしょうか？

A5. 図面のとおりになります。

Q6. 階段側の手摺、中さんは、内側ではなく外側に取り付けるのが正しいのでしょうか？

A6. 図面のとおりになります。

Q7. 仮柱、仮火打ちの場所の指示はありますか？どの部位に使用すれば良いのでしょうか？

A7. 力学的に有効な位置に取り付けてください。

Q8. 真づかの天端を小屋けたから850の位置に設置した場合、隅木の柱側を図面通り小屋はりに密着させると、真づか天端から50の位置に隅木単管の上側が寸法通りにきません。この場合、柱側の隅木を小屋はりに密着させずに持ち上げた状態で設置しても良いのでしょうか？

A8. 図面を修正しましたので、そちらで確認してください。

Q9. 組立て手順について、鋼製足場板・手摺、中さんの取付は、手摺、中さんのとびつきより取り付け、鋼製足場板を乗せた後、鋼製足場板の上で番線締めを行う形で良いのでしょうか？
もしくは鋼製足場板を乗せ床板から手摺、中さんの取り付けを行うのでしょうか？
その場合、鋼製足場板から手摺、中さんの寸法が追えないのですが、よろしいでしょうか？

A9. 注意事項および仕様内容をよく見てください。

Q10. 根がらみを取り付ける場合、有効な位置に仮火打ちを取り付け、作業終了時に外すこと。とありますが、仮火打ちを外すタイミングは根がらみの作業が終了してからでよろしいのでしょうか？もしくは、全体の作業が終了後に外すのでしょうか？
その場合、仮火打ちとクランプの個数の追加が必要ではないのでしょうか？

A10. 課題のとおりになります。

Q11. 根がらみに付けている仮火打ちは作業終了時に外すと記載がありますが、作業終了時だと自在の数が足りなくなるのですが、その場合どうしたらよいのでしょうか？

A11. 注意事項をよく読んで対応してください。

Q12. 課題図 配置図01にて、敷地境界線から基準柱が500と明記されていますが、これはロープからの距離でしょうか？または、基準柱を立てる際に使用する控えからでしょうか？

A12. 競技課題図面のとおりになります。

Q13. 敷地境界線はロープでしょうか？

A13. プラチェーンになります。また、各競技ブースはロープになります。